

第10回【野菜編（7）】

府立農事試験場では、根菜類のサツマイモとサトイモ、ジャガイモの試験研究は設立当時より昭和18・19年までの長期間にわたり行われてきました。

東京府における大正後期から昭和初期にかけてのサツマイモ、サトイモ、ジャガイモの生産事情をみると、サツマイモはコメ、ムギに次いで作付面積が大きく需要の多い野菜でした。南葛飾郡と南足立郡を除く各郡において広く栽培されていましたが、産地は徐々に三多摩郡（西多摩、北多摩、南多摩）に移っていきました。サトイモはサツマイモに次ぎ作付面積が大きく、主産地は北多摩郡、荏原郡、北豊島郡でした。荏原郡では「八ツ頭」や「團子」、「縞芋」のほか「土垂」などが栽培されていました。ジャガイモの主産地は荏原郡ほか北豊島郡、豊多摩郡、北多摩郡でした。品種は、「アーリーローズ」ほか「早生白」、「赤芽」などが栽培され、早生種を使った夏秋の2期作が行われていました。

今回ご紹介する細密画は、サツマイモとサトイモ、ジャガイモの一部です。サツマイモの細密画は37品種50点、サトイモは32品種25点、ジャガイモは22品種18点が残されています。

サツマイモ品種の「琉球」、「鹿児島」、「シカゴ」、「四十日」、「川越」は、府立農事試験場設立頃より試験栽培され昭和18（1943）年まで収量比較が行われてきました。また、挿苗（苗の植え）時期や挿苗法（苗の植え方）*などの栽培管理法の試験も行われ（写真1）、大正15（1926）年には「金時」の系統育種もはじめられました。サツマイモ育種は、他の地方農事試験場でも進められて昭和10（1935）年頃から「紅赤埼玉一号」や「沖縄100号」、「農林二号」、「関東五号・六号・七号」などの地方品種が比較試験に扱われるようになりました。サツマイモの試験が始められてから昭和18（1943）年までの間に100近くの品種（あるいは系統）が試験栽培されました。また、サツマイモはアルコール原料としても重視され、昭和13（1938）年より16（1941）年までの4年間に63もの品種（あるいは系統）について品種選抜試験が行われました。この試験では挿苗期や挿苗法などの基本的な栽培管理試験のほかに、成長ホルモンによる生育促進や増収効果試験も行われ、当時はアルコール原料としてのサツマイモが大変重要な品目であったことがうかがえます。*：サツマイモ苗の植え方には、水平植え（苗を畝の上面から底面の中ほどに水平に植付ける）、舟底植え（中ほどに船底のように弓なりに植える）、釣針植え（中ほどに釣針のように植える）、斜め植え（畝の上面中央から斜めに刺すように植える）、直立植え（畝の上面中央から垂直に植える）の4つの植え方がある。

サトイモ品種は「早生芋」、「土垂」、「豊後」、「島芋」、「唐ノ芋」、「女芋」が明治37（1904）年より継続して試験栽培されてきた主要品種でした。サトイモの試験は、昭和19（1944）年まで品種比較のほかに肥料、植付け時の深さや収穫時期が収量に及ぼす影響について行われてきました。その間に栽培された品種数は30品種でした。

ジャガイモ品種は「アーリーローズ」、「アメリカンウオンダー」が試験場設立から昭和14（1939）年まで試験栽培されてきました。その他に「サーオールターラレー」、「シカゴマーケット」などが明治後期より大正13（1924）年まで試験栽培され、それ以降は国内で育成された「岩手一号」とその後継品種や「男爵」、「メークイン」が扱われました。ジャガイモの試験は、品種比較を中心に行われてきましたが、その他に芽数を調整することが収量に及ぼす除莖法試験、種イモの大

小が収量に及ぼす種イモ比較試験が行われました。その間 80 品種程度が試験栽培されました。

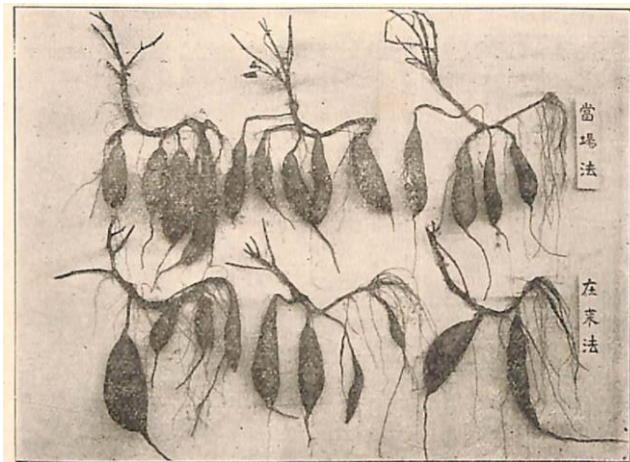


写真1 第一分場で実施されたサツマイモ苗の挿苗法が収量に及ぼす試験結果（農事試験場成績略報第八より抜粋）

上) 當場法（釣針植え）、下) 在来法（斜め植え）
品種「川越」の3ヵ年（明治35、36、37年）平均反あたり収量：當場法収量 1,313kg、在来法収量 1,238kg

引用・参考資料

- ・東京府.東京府の産業（農業）其一園芸.昭和4年,p12-20.
- ・東京府立農事試験場.農事試験成績略報：第一から第十六まで.
- ・東京都立農事試験場.業務功程：大正2から昭和19年度まで.
- ・財団法人日本農業研究所編.戦後農業技術発達史3.畑作編.昭和45年,p459-460.

サツマイモ・サトイモ・ジャガイモ細密画一覧（第10回）

サツマイモ

細密画	品種名（読み仮名）	収穫期	細密画	品種名（読み仮名）	収穫期
	琉球 （リュウキュウ）	10月下旬－11月 上旬		鹿児島 （カゴシマ）	10月下旬－11月 上旬
	シカゴ	11月上旬		四十日 （不詳）	10月下旬－11月 上旬
	東京金時 （トウキョウキントキ）	10月下旬－11月 上旬		沖縄100号 （オキナワヒャクゴウ）	10月下旬－11月 上旬
	農林二号 （ノウリンニゴウ）	記録なし		関東五号 （カントウゴゴウ）	10月下旬－11月 上旬
	関東六号 （カントウロクゴウ）	記録なし		関東九号 （カントウキュウゴウ）	記録なし
	川越 （カワゴエ）	10月下旬－11月 上旬		蔓無源氏 （ツルナシゲンジ）	10月下旬－11月 上旬
	花魁 （オイラン）			護国 （ゴコク）	10月下旬－11月 上旬

参考資料

農事試験場略報：第二・四・六・八
業務功程：昭和13・14・15・16年度

サトイモ	品種名 (読み仮名)	収穫期	細密画	品種名 (読み仮名)	収穫期
	上・左下) 土垂 (ドダレ) 右下) 豊後 (ブンゴ)	10月下旬-11月 下旬		右) ハツ頭 (ヤツガシラ) 左) 唐の芋 (トウノイモ)	記録なし 10月下旬-11月 下旬
	右) 赤芽芋 (アカメイモ) 左) 縞芋 (シマイモ)	10月下旬-11月 中旬 11月上旬		島芋 (イマイモ)	10月下旬-11月 下旬
	女芋 (不詳)	10月下旬-11月 下旬		ハツ頭尾間木早生 (ヤツガシラオマギワセ)	記録なし
	ハツ頭尾間木晩 (ヤツガシラオマギオクテ)	記録なし		愛知早生 (アイチワセ)	10月下旬-11月 中旬

参考資料 農事試験場略報：第九・十・拾参・拾四・十六

ジャガイモ	品種名 (読み仮名)	収穫期	細密画	品種名 (読み仮名)	収穫期
	右) アーリーローズ 中央) オービー 左) ニュークイン	6月中旬-7月中旬 記録なし 記録なし		右) シカゴマーケット 中央) アメリカンウオンダー 左) ルーラルニューヨーク	記録なし 6月上旬-7月中旬 記録なし
	右上) ルーラルニューヨーク 右下) サウオルタラレー 左上) 長崎赤 (ナガサキアカ) 左下) アーリークイン	記録なし 6月下旬-7月中旬 記録なし 記録なし		右上) 三圓 (サンエン) 右下・左下) 男爵 (ダンジャク) 中央) 紅丸 (ベニマル) 左上) メークキン	6月下旬 6月下旬 6月下旬 6月下旬
	アッシリーフ	記録なし		ウキッチヒル (ウイッチヒル)	記録なし
	右) アーリーサラブレット 中央) サンライト 左) バーバンクスシードリング	記録なし 記録なし 6月中旬-7月中旬		男爵(空洞薯)	記録なし

参考資料 農事試験場略報：第二・四・十・十一・拾式・拾参・拾六
業務功程：昭和13・14・15・16年度